



第 1 回学校評価へのご協力ありがとうございました

晩秋から初冬へと、季節の変わっていく候となりました。

平素は本校教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、9 月末にはお忙しい中、学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。保護者の皆様からの評価とご意見を受け、課題をとらえ、その改善に向けて取り組んでいきたいと考えています。評価結果のうち、ぜひ一緒に考えたいという点について紹介させていただきます。多くの皆様からのご意見を大切に、今後の翔鸞教育に生かしてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

◎よくあてはまる ○どちらかといえばあてはまる △どちらかといえばあてはまらない ×あてはまらない
◎と○の結果を「達成している」項目と考えて達成度(%)を表し、考察と改善策を考えています。

<確かな学力>

評価項目	児童(%)	保護者(%)	教職員(%)
子どもが、人の話を聞くこと	93.6	74.3	80.5
子どもが分かりやすい授業であること	89.9	82.9	87.8
子どもが、自分の思いや考えを書いたり話したりすること	77.6	66.7	51.2
子どもが、1 か月に 5 冊以上本を読むこと	71.2	40.0	39.0
子どもが、毎日決めた時間に家庭学習に取り組むこと	66.4	58.5	26.8

◆考察と改善策

- ・「自分の思いや考えを書いたり話したりすること」については、自信がないために単語ですませたり、最後まで発表しきれなかったりすることがあります。授業の中で、自分の考えを書いたり話したりする時間を持ち、ペア学習や少人数グループでの活動を取り入れることで、子ども達がみんなの前で発表することに慣れ、自信をもって意見交換ができるようになってきました。また、聞き手がしっかりと話を聞くことで、話し手も分かりやすく伝えようとします。聞くことや読むことについても、指導を続けていきます。
- ・「分かりやすい授業」については、児童・保護者・教職員の 80%以上ができていますと評価しています。算数科の校内研究を中心に、子ども達が興味をもって積極的に学習に取り組めるよう授業改善に取り組んだり、ノート指導を全校で統一したりするなどの取組を進めてきました。更にたくさん子ども達の「わかった。」「できた。」という成就感・達成感に確実につながるよう、今後も更なる授業改善をしていきます。
- ・「1 か月に 5 冊以上本を読む」については、低い評価になっています。朝読書は定着していますが、設定された時間以外に、自分から本を読む習慣がまだついていないのが実態です。読書ノートを活用したりブックトークに取り組んだりする、調べ学習の時間に学校図書館を活用するなど、学年に応じた取組を継続していくことで、本に興味をもつ子を増やしていきたいと思えます。
- ・「家庭学習」については、部活動や習い事等によって家庭学習ができる時間が個々違います。決められた時間ではなく、自分で計画を立てて自主的に学習に向かう力をつけていく必要があります。高学年では、予定表に家庭学習の時間を自分で書き入れるなどの工夫もできます。また、読書習慣とも関連しますが、テレビやPC等の視聴時間なども振り返っていただき、おうちでの過ごし方について、ご家庭でも子ども達と話し合っていただければと思います。ご協力をよろしくお願いします。(教職員は、わからないが 36.6%あります。)

<豊かな心>

評価項目	子ども(%)	保護者(%)	教職員(%)
子どもが、進んであいさつをすること	95.0	77.1	68.3
子どもが、自分も友達も大切にすること	96.8	93.4	92.6
子どもが、学校で楽しく過ごすこと	96.8	93.8	95.1
子どもが、きまりや約束を守ること	93.6	80.0	69.3



◆考察と改善策

- ・「進んであいさつすること」については、昨年度と同じく、児童はあいさつをしていると自覚していますが、三者の評価にはばらつきがあります。学校では児童会を中心とした「あいさつ運動」を登校時に実施していますが、今年度は正門前だけではなく、校内の色々な場所に児童会の児童が立ってあいさつをするなど、工夫をしています。教室でも、気持ちのよいあいさつが大切なことを、折に触れて指導しています。
- ・「一人一人大切にされること」「学校で楽しく過ごすこと」についての評価は高いです。しかし、今回も、わずかであってもそうではないと考えている子がいます。今後も、子ども達の話をしっかり受けとめ、一人一人が大切にされる学級づくり・学校づくりを目指します。
- ・「きまりや約束を守ること」については、守ることの大切さや必要性を、学年の発達段階に応じて指導してきました。しかし、クラスや部活動で、また、学校として、守りきらせたいことをもう少し整理し共通理解していく必要もあると考えます。今後の課題として、校内で話し合っていきます。

<健やかな体・学校独自の取組>



評価項目	子ども(%)	保護者(%)	教職員(%)
子どもが、毎日朝食を食べること	95.9	96.2	90.3
子どもが、早寝・早起きをする	71.5	64.1	65.9
子どもが、安全に気をつけて登下校すること	95.9	96.7	90.3
子どもが、危ない遊びをしないこと	94.5	97.2	75.6
学校が、保護者や地域の方々と力を合わせ、子どもの安全を見守ること		95.2	100



◆考察と改善策

- ・「朝食」については、毎日食べて登校している児童が多いです。しかし、夏休み明けの生活調べでは、「パンと牛乳」「おにぎりとお茶」といった朝食も多かったようです。午前中の学習や活動で十分に力を発揮することができるよう、おかずも食べてくるよう指導しています。そのためには、早起きも大切です。
- ・「早寝・早起き」については評価が低いですが、昨年よりも少し上がっています。ご家庭で取り組んでいただいている結果と、うれしく思います。学校でも指導しますが、ご家庭の協力が大切です。学習や活動にしっかりと取り組めるよう、また身体の発育・発達の観点からも、早寝・早起きの習慣が身につきますようご協力お願いします。
- ・「危ない遊びをしないこと」については、児童・保護者と教職員で評価が違っています。校内には、遊んでもよい場所と、危ないので遊んではいけない場所がありますが、遊んではいけない場所での怪我也多くあります。ここで遊ぶと、この遊びをすると、どのような結果になるのかを考えられるよう指導していきたいと思います。

【学校運営協議会委員の皆様からのご意見】

- ・読書をしていても、なかなか本の内容が頭に入っていないこともある。図鑑などでもよいので、子どもの興味のあるところから入っていったらどうか。家庭でも読書を促す声かけなどの環境が大切である。また、それと同時に、子ども達に実体験をさせることも大切にしていきたい。本で得た知識と経験したこととで、子ども達は学んでいく。
- ・挨拶については、ずいぶん返してくれる子が増えた。やはり、挨拶をしてもらおうと気持ちがよい。挨拶は、人との関係をつくる上で大切なこと。学校でも、「挨拶をしましょう。」と声を掛けるだけでなく、なぜ挨拶をするのかということをきちんと教えてほしい。
- ・登下校の見守りをしていると、危ない歩き方をしている子がいる。寒くなってくると、ポケットに手を入れて歩いている子が増えた。こけた時など手がつけず大怪我につながるの、見かけたら注意をしている。また、歩道の縁石の上を歩いている子や、正門から左右を見ずに飛び出す子もいる。安全については、これからも指導をしていきたい。



自由記述欄に寄せられたご意見から （内容をご紹介します）

◆学習・生活について

- ・毎日の自主学習のおかげで、家庭での学習時間が増えました。今後は、習慣化して自主的に取り組むように指導していきます。
- ・毎週、担任の先生からいただく時間割がとても分かりやすいです。日々の学習に対して、子どもからの説明では親がどのようにフォローすれば良いのか不安に思ったりしますが、このプリントがあることによって、家庭では親がどうすればよいか、とても分かりやすく安心できます。

＊子ども達の学習のフォローをしていただいていること、大変うれしく思います。自主学習は、子ども達の中でも定着してきました。今後、より内容が充実していくよう、学年の発達段階に応じて担任が指導を続けていきます。ご家庭でも、家庭学習のよりよい習慣がつかますようお声かけください。また、各クラスの担任から毎週の予定表を配布しております。読んでいただいて分かりにくいところがありましたら、ご遠慮なく担任にお尋ねください。持ち物がそろわないために、その時間の学習に支障が出ることもあります。持ち物についても、特に低学年のお子さんについては、一緒に見てあげていただければと思います。よろしくお願いいたします。

- ・先日参観日に行かせてもらい、子どもが手を挙げている子の誰かを当てて答えていくというのに、少し違和感を感じました。先生が当てるより、子どもが当てる方が答える意欲がわくという事なのでしょうか。

＊教室では、教師が意図して指名をして授業を進めていくこともあれば、子ども達が互いに発表をつないで解決に向かっていくこともあります。「ここまで分かったけれど、後が分からないので誰かつないでください。」や、「その意見に付け足しがあります。」「少し違う考え方があります。」等の思いで、子ども達は意見をつないでいきます。今発表している児童が、意見を聞きたいと思う児童を指名して話合いが進められます。色々な形態で授業を進めています。

- ・学校が休みに入った時、グラウンド開放に軟らかいバット・ボール・サッカーボールを持って行っているのかどうか、はっきりしてもらいたいです。先生によって、良かったりだめだったり（もちろん、遊ぶ時は無断ではなく、先生に持って来たことを言う様に家では言っています）でした。できれば、ボールくらいは許してもらえればと思います。

＊子どもへの返事にぶれがあったこと、申し訳ありませんでした。学校には必要でない物を持って来ないというきまりと、広いグラウンドが空いているので少し遊ばせてあげたいという思いとの間でぶれが出てしまったかと思います。改めて教職員で話し合って共通理解をし、「冬休みのくらし」に明記させていただきます。

- ・雨の日に傘をさして沢山の荷物を持って通るのに、下校の際は校門が横の小さな門しか開いておらず、傘が折れて帰ってくるという事が何度かありました。正門を完全に開けてもらう様にするのは難しいですか。（片方でもいいです。）

＊傘が折れてしまったとのこと、申し訳ありませんでした。登校と違って、下校は学年や部活動などによって時間が大きく違ってきます。安全を守る上で、完全に正門を開放してしまうことは難しいかと思われます。ただ、確かに正門の横の小さな門は、傘をさして通るには狭いです。そこで、雨がきつい時は、午後3時から4時までの1時間、正門を片方開けることにいたします。しかし、担任以外の教職員の人数が限られているため、様々な事情で開放の時間が遅れたり解放できなかったりする場合もあることはご了承ください。

- ・夏休みのプールが、今年は1週間しかありませんでした。授業以外のプール遊びを楽しみにしている子ども達は沢山いると思います。せつかくの夏休みに、1週間は短くありませんか。

＊以前の夏休みに比べると、短くなりました。しかし、夏休みの水泳学習は、全市的に1週間になっています。また、夏休み中でも、水遊びではなく水泳学習をしています。プールの水位は、低・中・高学年に合わせて10cm単位で変えています。6月からの水泳学習を合わせると、大量の水を使っていることになります。また、8月に入ると、教職員の研修も入ってきます。様々な事情で、各校夏休みの水泳学習は、近年1週間になってきました。1週間と期間は短いのですが、子ども達は頑張って練習をしてくれて、たくさん子ども達が泳力を伸ばすことができます。

◆ホームページについて

- ・学校のホームページを、楽しみにしています。お忙しいとは思いますが、学校の様子や子ども達の様子を積極的に更新してくださると嬉しいです。

＊行事や学習の様子、校内の様子や校区の様子など、色々な情報が発信できるよう、頑張って更新しています。是非、ご覧ください。

◆地域・環境について

- ・毎朝、見守り隊の方が立ってくださっているの、安心して学校に行っています。本当に感謝しています。
- ・学校、地域の皆さんには、子どもをいつも温かく見守っていただき、感謝の思いしかありません。いつも、本当にありがとうございます。学校、地域の行事、取組は、親が望む以上の事をさせていただいていると感じています。学校等で元気に活動できる様、家では、子どもをしっかりと見守ってこうと思います。
- ・毎日、ご近所のボランティアの見守り隊の皆様のおかげで、安心して登校させることができます。ありがとうございます。子どもの目線で考え指導して下さる事で、よりよい学校環境が生まれていると感じる時があります。今後も、地域や先生、親と共に子どもを見守れる環境にしていきたいです。

＊毎日の登下校時の安全の見守り、1年生入学当初の集団下校時の見守り、避難訓練やブロック別集会での集団下校時の見守り、校区たんけんなどの学習時間の見守り等、様々な場面で地域の皆様が子ども達の安全を見守ってくださっています。下校時間の変更にも対応してくださっています。また、近所の子ども達に声を掛けたり、助け合ったりしてくださっている保護者の方もおられます。気付かない所で、子ども達はたくさんの方に守っていただいています。地域の子を達を地域のたくさんの目で守り育てていくことが大切です。挨拶をしてくれたら、「気持ちのいい挨拶をありがとう。」、危険なことをしていたら、「危ないからやめようね。」、暗くなるまで遊んでいたら、「遅いから、早く帰ろうね。」などの声を、是非子ども達にかけてあげてください。これからも、保護者や地域の方と協力して子どもたちを育てていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。教職員も、クラスや学年にとらわれず、みんなの目で子ども達を見守っています。

◆学校評価について

- ・このアンケートを記入する事で、育児の方向が少し見えました。幼稚園の時とは違い、遊びだけではなく勉強もしなくてはいけない、自分の事は少しずつ自分でさせなくてはいけないと思ひ、毎日「今日は強く言い過ぎた。」「自分から進んでするまでがまんしよう。」等、親自身の気持ちがふらついていました。子どもと話して決めた事も、うやむやになったりする事もあります。このアンケートの質問について、子どもと話してみたいと思ひます。
- ・定期的にこのアンケートがある事で、家庭でも重要な事を再確認でき、改めて考えられるので助かります。実現度を見て思ったのは、ばらつきがあるのは、学力の所でした。普段子どもを見て気になっている点と同じでした。負担をかけないよう、子どもへの対応を考えていきたいと思ひます。
- ・「アンケート」という体裁で名前を書かせるのは、もはや「アンケート」ではない。不特定多数の親からこのようにデジタルに回答を収集するものなら、なおさら。「学校評価システムの構築」は、このように機械的な回答では成立しないと思ひ。常日頃から、子どもの「言語化されていない声」に耳を傾ける方が重要だ。だれのための「評価システム」なのか、意図が分からない。
- ・学校にとって都合の良いものだけを上げるのなら、やる必要がないと思ひます。

＊書いていただいたご意見は大切に受け止めて、学校運営に活かしていきたいと思ひています。また、書いていただいたことについてお話をさせていただくためにも、お名前を書いていただくと大変ありがたいです。あくまでも、お名前は任意であって強制ではありません。

＊もちろん、学校評価がこのアンケートだけで成立するものではないと考えています。日頃から、子ども達の表情や様子に注意を向け、気になることがあれば個別に話を聞いていますし、保護者の方にも連絡をとらせていただいています。電話や連絡帳だけでなく、必要な時には家庭訪問もさせていただいています。そして、保護者の皆様からも、色々なご意見をお聞かせいただきたいと思ひています。気になることがありましたら、どうぞお気軽に学校へご連絡ください。また、学級懇談会にもご参加いただいて、担任やクラスの保護者の方ともお話しいただけたらと思ひます。保護者や地域の皆様からご意見をいただき、学校としての考えもお伝えして、共に協力して、子ども達が気持ちよく過楽しくさせる学校にしていきたいと考えています。よろしくお祈ひいたします。